

『日本の伝統文化』

日本には1年の間に「5節句」と呼ばれる5つの節句があります。3月3日の雛祭りは女の子のための節句「桃の節句」、5月5日のこどもの日は男の子のための「端午の節句」と言われています。「端午の節句」5月5日は、男の子のいる家庭では大きな行事であり、子供の成長を祝う日でもあります。今回はこどもの日の行事と伝統文化について紹介します。



<5月人形、鎧兜>



江戸時代の武家社会が背景にあり、5月5日は重要な式典が行われており、将軍家に男の子が生まれた時に兜などを盛大に飾られていたようです。今では、無事に成長し強くたくましく、賢い大人になるように願いを込めて、家に鎧や兜、武者人形を飾ります。鎧兜を中心として、向かって右側に刀、左側に弓矢を飾ります。

鎧、兜、刀、弓は、長年伝えられた武士道精神を象徴しています。鎧兜については、宮崎県国際交流協会主催の国際フェスタで、協会ボランティアの方による手作りの鎧兜を試着するイベントがあり、外国人の方々も手に取って喜ばれました。刀については、日向市の日本刀を作る職人さんが、海外にも日本刀の素晴らしさを伝えていらっしゃいます。そして、日本の竹弓の大半は都城市で生産されています。外国人のみなさん、季節の行事と共に日本の伝統文化に是非触れてみてください。私たち日本人も文化を大事にしていきたいと思います。



このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財) 宮崎県国際交流協会

TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email miyainfo@mif.or.jp

毎日の生活に関して、ご質問、ご心配事などありましたら：「みやざき外国人サポートセンター」 TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902 Email support@mif.or.jp